令和6年第3回(9月)大郷町議会定例会会議録第2号

令和6年9月5日(木)

応招議員(12名)

1番	赤間 繁幸君	2番	鎌田 暁史君
3番	鈴木 利博君	4番	赤間 則幸君
5番	佐々木 和夫君	6番	鈴木 恵子君
7番	金須 新一君	8番	田中 三恵子君
9番	熱海 文義君	10番	石垣 正博君
11番	高橋 重信君	12番	石川 良彦君

出席議員(12名)

応招議員と同じ

欠席議員(0名)

なし

地方自治法第121条の規定により、会議事件説明のため本議会に出席した者は、次のとおりである。

町長	田中 学君	副町長	金須 豊洋君
教育長	鳥海 義弘君	総務課長	熊谷 有司君
財政課長	菅野 直人君	まちづくり政策課長	高橋 優君
復興推進課長	門脇 匡哉君	税務課長	小野 純一君
町民課長	千葉 昭君	保健福祉課長	伊藤 義継君
農政商工課長	本間 文二君	地域整備課長	武藤 亨介君
上下水道課長	齋藤 正智君	会計管理者	赤間 良悦君
学校教育課長	角田 倫明君	社会教育課長	片倉 剛君

事務局出席職員氏名

事務局長 三浦 光 次長 相澤幸子 主事 高橋映瑠

議事日程第3号

令和6年9月5日(木曜日) 午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 一般質問〔3人 6件〕

◎一般質問通告順

	6.	6番	鈴木恵子	議員
	7.	1番	赤間繁幸	議員
	8.	3番	鈴木利博	議員
日程第3	議案第41号	おおさとスマートスポーツパーク構想実施について町民の賛否を問う住民投票条例の制定について		
日程第4	議案第42号	大郷町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例及び大郷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		
日程第5	議案第43号	大郷町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について		
日程第6	議案第44号	大郷町コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		
日程第7	議案第45号	大郷町すこやか子育て医療費の助成に関する条例の一部改正について		
日程第8	議案第46号	大郷町母子・父子家庭医療の助成に関する条例の一部改正について		
日程第9	議案第47号	大郷町障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について		
日程第10	議案第48号	大郷町国民健康保険条例の一部改正について		
日程第11	議案第49号	令和6年度大郷町一般会計補正予算（第5号）		
日程第12	議案第50号	令和6年度大郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		
日程第13	議案第51号	令和6年度大郷町介護保険特別会計補正予算（第1号）		
日程第14	議案第52号	令和6年度大郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		
日程第15	議案第53号	令和6年度大郷町水道事業会計補正予算（第1号）		

日程第 1 6 議案第 5 4 号 令和 6 年度大郷町下水道事業会計補正予算（第 1 号）

本日の会議に付した案件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 一般質問〔3 人 6 件〕
- ◎一般質問通告順
- 6 . 6 番 鈴木恵子 議員
- 7 . 1 番 赤間繁幸 議員
- 8 . 3 番 鈴木利博 議員
- 日程第 3 議案第 4 1 号 おおさとスマートスポーツパーク構想実施について町民の賛否を問う住民投票条例の制定について
- 日程第 4 議案第 4 2 号 大郷町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例及び大郷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 5 議案第 4 3 号 大郷町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 日程第 6 議案第 4 4 号 大郷町コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第 7 議案第 4 5 号 大郷町すこやか子育て医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 日程第 8 議案第 4 6 号 大郷町母子・父子家庭医療の助成に関する条例の一部改正について
- 日程第 9 議案第 4 7 号 大郷町障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 日程第 1 0 議案第 4 8 号 大郷町国民健康保険条例の一部改正について
- 日程第 1 1 議案第 4 9 号 令和 6 年度大郷町一般会計補正予算（第 5 号）
- 日程第 1 2 議案第 5 0 号 令和 6 年度大郷町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）

- 日程第13 議案第51号 令和6年度大郷町介護保険特別会計補正予算
(第1号)
- 日程第14 議案第52号 令和6年度大郷町後期高齢者医療特別会計補
正予算(第1号)
- 日程第15 議案第53号 令和6年度大郷町水道事業会計補正予算(第
1号)
- 日程第16 議案第54号 令和6年度大郷町下水道事業会計補正予算(第
1号)

午 前 10時00分 開 議

議長(石川良彦君) 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は全員であります。定足数に達しておりますので、
これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長(石川良彦君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署
名議員は会議規則第110条の規定により、3番鈴木利博議員及び4番赤
間則幸議員を指名いたします。

日程第2 一般質問

議長(石川良彦君) 日程第2、一般質問を行います。

質問の通告がありますので、順次発言を許します。

6番鈴木恵子議員。どうぞ。

6番(鈴木恵子君) 皆さん、おはようございます。

通告順位6番鈴木恵子、一般質問を始めます。

まず、大綱1、酷暑対策について。

9月になって涼しくはなっておりますが、8月1日から10月23日まで
やっただいてはいる施設なので、今回、改めて質問させていただきます。

本町にも8月1日から10月23日までの間、熱中症による健康被害を防
止することを目的とした熱中症特別警戒アラート発表時などに酷暑を避
けるため、滞在、休憩できる施設クーリングシェルターがポートピア大
郷、オフト大郷の両施設と、町の公共施設に設けられました。

(1) これらの指定施設は、熱中症特別警戒アラート発表時のみ利用

することが可能なのか伺います。

(2) 本町の公共施設の空調設備の点検は、毎年、全施設で行っているのか伺います。

(3) 町民に対する、エアコン購入費用の一部助成をする考えはないのか伺います。

大綱2、ふるさと納税について。

全国の令和5年度ふるさと納税は、返礼品の品目の充実や、物価高騰の節約志向も追い風となり、初の1兆円超えとなり、利用者は107万人に増え、初めて1,000万人に達し、住民税納付義務者のおおむね6人に1人が利用しているそうだ。

(1) 新たな魅力ある返礼品の開発について、町は取り組むべきであると考えているのか伺います。

(2) 返礼品の発送作業については、全て返礼品提供事業者に一任する形となっているのか伺います。

(3) ふるさと納税PRにはいろいろ縛りがあるようだが、各地でのPR活動に利用できるように、ポスター等を製作する考えはないのか伺います。

議長(石川良彦君) 答弁願います。町長。

町長(田中 学君) 皆さん、おはようございます。

ただいまの鈴木恵子議員の大綱1つ目の酷暑対策について、お答えしたいと思います。

(1) のクーリングシェルター指定施設の利用につきましては、公共施設は業務時間内であれば、アラート発表時に限らず御利用いただけるようになってございます。

また、民間施設においても、指定に当たって協定を締結してございますので、暑熱を避けるための滞在場所として一般開放に努めることとしております。

(2) の公共施設の空調設備の点検につきましては、定格出力に応じて実施しております。

(3) のエアコン購入費用の助成につきましては、近年の気温などの状況から、エアコンもテレビや冷蔵庫と同様、生活に必要な家電であると認めて、認識をしているところであります。それぞれの家庭の状況により、必要な家電を購入いただければと考えているところであります。助成につきましては、考えはございません。

本町としては、気象状況などを注視しながら、住民の健康確保のため

注意喚起に努めております。

大綱 2 つ目のふるさと納税についての御質問にお答えいたします。

(1) の新たな魅力ある返礼品の開発につきましては、返礼品提供事業者、返礼品の選定等を委託する事業者、町の三者で意見交換し、現返礼品の磨き上げをするとともに、常に町内の情報を収集しているところでございます。

現在、数件の新たな返礼品の提供に向けて調整を進めているところでございます。

(2) 番目、発送作業につきましては、寄附があり次第、支援事業者から返礼品提供事業者に連絡があり、返礼品提供事業者が指定日までに返礼品を箱詰めし、支援事業者の手配により集荷・発送する仕組みになっております。

(3) 番のポスター等の作成につきましては、PR費用を含めた経費をふるさと納税額の半額以内とする国の制度改正があったため、全体的な経費の状況を見ながら検討してまいります。

なお、現在は、昨年度作成したパンフレットを一部リニューアルし、町外のイベントで配付するなどPR活動に努めているところであります。

以上が答弁といたします。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6 番（鈴木恵子君） 大綱 1 なんですけれども、この取組は当初 8 月 1 日からということなんですけれども、当初、広報おおさとや防災大郷などで、広く町民の皆様へ告知しなかったのはなぜなのでしょう。

議長（石川良彦君） 答弁願います。保健福祉課長。

保健福祉課長（伊藤義継君） 町ではですね、このシェルターについて 8 月から指定を行ったところでございます。それに向けて広報、あるいは、広報じゃないですね、防災無線等については周知をしておるものでございます。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6 番（鈴木恵子君） 各施設の利用人数などは、どのように把握しているのでしょうか。

議長（石川良彦君） 保健福祉課長。

保健福祉課長（伊藤義継君） お答えいたします。

利用人数というのは、通常の利用人数ということによろしいでしょうか。

議長（石川良彦君） どうぞ、鈴木恵子議員。

6 番（鈴木恵子君） 例えば、ポートピアさんなんかはいろいろお客さん来ると言うんですけれども、あそこの公民館とか、物産館の2階とか、ああいったところだと把握しやすいと思うんですけれども、例えばそういうところの人数とかは把握しておりますか。

議長（石川良彦君） 保健福祉課長。

保健福祉課長（伊藤義継君） シェルター開放時に使う場所の平常時、平常時というか、通常時の利用人数については特段こちらでは把握しておりません。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6 番（鈴木恵子君） その中で、どういった年代の方をターゲットにこの事業はなされているのでしょうか。

議長（石川良彦君） 保健福祉課長。

保健福祉課長（伊藤義継君） お答えいたします。

対象については全ての町民、あるいはそちらの施設を利用する方々と思っております。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6 番（鈴木恵子君） 涼しく過ごせるとはいえ、移動手段のない方への対応策などはあるのでしょうか。

議長（石川良彦君） 保健福祉課長。

保健福祉課長（伊藤義継君） このシェルターの利用に関しては、いわゆる都会といいますか、町の方ですと、お出かけして暑いから、その暑熱を避けるために施設を利用するというような形かと思っております。

大郷町においては、基本あまり出かけるという場合は車がほとんどの状況でございますので、そういった状況から町では当初この指定というものについて検討していたところなんですけれども、施設を利用するための送迎とか、そういったことについては町としては考えておりません。ですので、高齢者の方ですとふれあい号とかございますが、その場合、それは当日の予約というのはできませんので、そういったことは現状では利用できないと思っております。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6 番（鈴木恵子君） おっしゃられるように、商業施設が少ない町で協力していただける事業者さんがあることは、大変ありがたいことだと思います。役場以外は、中村地区に集中しております。それ以外の地区での設置はできなかったのでしょうか。

議長（石川良彦君） 保健福祉課長。

保健福祉課長（伊藤義継君） 基本的にシェルターに関しては、通常オープンになっている場所というふうに考えております。そう考えたときに、いわゆる今回指定した施設以外においては、なかなかその設置が難しいものだというふうに考えております。

議長（石川良彦君） よろしいですか。鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） では、（2）に行きます。

8月14日付の新聞で、仙台中税務署がエアコンの故障でサウナ状態という記事が載っておりました。

当町ではきちんと点検がなされているという、定格出力に応じて実施しているということは、きちんとなされているということによろしいのでしょうか。

議長（石川良彦君） よろしいですか。財政課長。

財政課長（菅野直人君） お答えいたします。

その定格出力に応じまして、点検の方法、回数等が定められておりますので、それに基づいて実施しております。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） では、クーリングシェルターとして限定的に中村地区に集中しているんですけれども、クーリングシェルターとして限定した利用ではなく、災害時などに避難所として利用できるであろう味明地区のふれあいセンター21の多目的ホール、和室にまだエアコンが設置されていないのはなぜなのでしょう。

議長（石川良彦君） 農政、所管は農政ですよ。いいですか。答弁願います。農政商工課長。

農政商工課長（本間文二君） お答えいたします。

農政商工課所管のふれあいセンター21についてですけれども、現在、ふれあいセンター21につきましては、エアコン設置が農事研修室のみでございます。

当時、東日本台風のときも、私ちょうどそのふれあいセンターの避難所の開設ということで担当して行っていたんですけれども、あのときは秋ということもあって、そんなに暑くない時期ということもありました。ただ、今後ですね、あそこが避難所ということもあります。今回のように台風が夏に来ると、よって避難するということが想定されるなどというふうに思っております。

それで、まずは防災の観点から総務課であったり、それから財政の部分で財政課さんだったり、協議は始めております。で、和室それから

多目的ホールというところでありますけれども、どちらも避難者が休める場所ということになりますので、現在、その財源も含めて、いろいろ相談しているところでございます。

以上でございます。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） では、その設置はいつ頃になるのでしょうか。相談しているとはいえ、こんなに暑いとか気象状況が悪いので、早急にさせていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

議長（石川良彦君） ちょっと待ってくださいね。誰、誰が、財政からね。答弁願います。財政課長。

財政課長（菅野直人君） お答えいたします。

できるだけ早く設置できるような形で検討は進めたいと思いますが、今、この時点でいつというのは明言できませんので、検討のほうはしたいと思います。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） よろしくお願ひします。

あとですね、今、クーリングシェルターとして道の駅の2階の和室ということで、そこにはエアコンがあって、クーリングシェルターとして登録しているのですが、その隣にあるキッズコーナーのエアコンは故障したままのようなので、これはなぜなのでしょう。今後つける予定とかはあるのでしょうか。

議長（石川良彦君） 農政商工課長。

農政商工課長（本間文二君） お答えいたします。

道の駅2階のキッズスペースのところにはちょっとエアコンがそもそもなくてですね、今、和室のほうのエアコンを強くかけながら、キッズスペースのほうに風を送っているところでございます。

以上です。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） すみません、私何か壊れていると聞いたものだから、申し訳ないです。

せっかくの和室を毎日エアコンをつけて開放しているわけなんですよね、10月まで。これ何か私行ったとき、誰もいらっしゃらなかったんですけれども、夏休み期間中ということもあったんですけれども、ぜひその何ていうんですかね、せっかく電気代かけて冷やして、こういうことやっていますよなんだけれども、ぜひね、あそこ階段だからお年寄りに

ここ上がって行けというのはちょっと酷な感じなんですけれども、各地区の子供会さんなんかにお声がけして夏休みの勉強会を催すとか、あと受験生の中学校3年生とかに利用してもらうような取組などは、今後考えていただけるのでしょうか。

議長（石川良彦君） 大丈夫ですか。ちょっと通告から若干外れていますけれども、農政商工課範囲内で答えていただきます。農政商工課長。

農政商工課長（本間文二君） お答えいたします。

あの場所につきましては多目的に使えるということがありますので、議員さんおっしゃられるような使い方に向けてPRとか、できることはできればなと思っております。よいお話だと思って、お伺いしました。以上でございます。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） では、（3）に行きます。

エアコンの助成は町では考えていないということなんですけれども、酷暑の中、涼みたくても移動手段がない。エアコンをつけるにも、経済的には難しい。リアルな現状を把握することが、今一番必要なことだと私は思っております。明確には申し上げられないのかもしれませんが、本当に必要な方への支援をどう考えているのか伺います。

議長（石川良彦君） 保健福祉課長。

保健福祉課長（伊藤義継君） ここ数年当然、当然のようにといいますか、酷暑が続いている状況なのは我々ももちろん理解しております。町長答弁にもございましたが、エアコンについてはもう既に特別な家電というよりは、もうテレビ、冷蔵庫とともに、もう生活の必需品というような認識でございます。となった場合に、そのエアコンだけ助成を出すのかというような考えにもなってくるところでございますが、また、今議員さんからはいわゆる低所得の世帯、購入できないような世帯に対する援助が必要なのではないかというふうに捉えましたが、町とすれば、昨年、今年も含めてですが、低所得世帯に関しては国の交付金を使いながら、価格高騰支援金等の支援をしているところでございますので、そういった助成金等を使いながら、必要なものを購入いただければなというふうに考えております。

議長（石川良彦君） よろしいですか。鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） 大綱2、ふるさと納税について伺います。

（1）令和4年度、寄附者が2,615名、寄附金約4,500万円、令和5年度、寄附者が1,369名、寄附金約2,600万円、なぜ寄附者が半減してしま

ったのでしょうか。何か理由等があるのでしょうか。

議長（石川良彦君） 財政課長。

財政課長（菅野直人君） お答えいたします。

理由は何点かございまして、まず一つは先ほど町長の答弁にございました支援事業者を、会社のほうの対応等も踏まえまして変更したことがございます。それに基づきまして、4月から6月までホームページ等の掲載、サイト等の掲載の関係で寄附を受けられなかったというのが一つの理由でございます。

もう一つの理由としましては、国の制度が変わりましたことによりまして返礼品、本町で例えば牛タンであれば、これまでは加工を、切ったりですね、貯蔵するという形でも返礼品を提供できましたが、それが外国産なものですから、どこの町もそうですけれども、それに何らかの加工を加えないと返礼品として認めないという国の制度がございましたので、そういう形で国からそれを品物としていいというふうに判断をしていただくのにですね、手続が二、三か月かかりました。その関係で、十分その品数をお見せできるのにかなりの時間を要したというのがございます。

以上です。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） それでは、まだ8月終わったばかりなんですけれども、今年度の寄附者の人数なんかは把握できていますか。増えているんでしょうか。

議長（石川良彦君） 財政課長。

財政課長（菅野直人君） すみません、人数はちょっと今手持ちにございせんが、寄附額としまして、昨年度4月から8月までは280万円ほどでございましたが、現在4月から8月までで2,300万円ほどの寄附を頂いております。

以上です。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） それでは、あと魅力ある商品開発も必要だと思うんですけれども、大郷らしい、何というんですかね、心配り、返礼品を受け取る側がうれしくなるような、共通した取組はなされているのでしょうか。例えば、お礼状の同封など、そういうのは全その法人さんがやっていたことなんではないでしょうか。

議長（石川良彦君） 財政課長。どうぞ。その前に先ほどの答弁の中、ちよっ

と訂正あります。

財政課長（菅野直人君） すみません、今年度の4月から8月までの寄附額、まず2,300万円とお話ししてしまったのですが、1,300万円の間違いでございます。大変失礼いたしました。

それから、今の御質問に対してでございますけれども、御礼状につきましては町長名で、町のほうから直接寄附者のほうにワンストップ特例等の申請の形と合わせて送付しております。ですから、その返礼品提供事業者が同封する中には、その御礼状というものは入っていない状況でございます。その点に、今の御質問につきましても、今年度提供事業者さん皆さんお集まりいただきまして、町として返礼品を増やしたい、それから寄附額を増やしたいということでお話し合いをいたしました。その辺でそのような工夫もできないかというお話もさせていただきましたので、これから提供事業者さんと協議をして、その辺できることはしたいというふうに思っております。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） 寄附者の人数が増えない中、リピーターというんですか、そういう方の把握なんかは町のほうではできるんでしょうか。

議長（石川良彦君） 財政課長。

財政課長（菅野直人君） そのサイトごとによります。サイトによって、できるサイトとできないサイトがございますが、できるサイトについては把握することはできます。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） やっぱりある程度リピーターさんというのはおられるんですか、その中で。

議長（石川良彦君） 財政課長。

財政課長（菅野直人君） 寄附者のやはり多くはリピーターでございます。ですから、やっぱり一度寄附を頂いた方には再度御寄附をいただけるような、こっこのほうで取組というのが必要かと思っております。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） （2）に行きます。

返礼品発送するために自社で梱包する段ボールを用意している法人さんもいらっしゃるし、ホームセンターなどで無印の段ボールを購入している法人さんもいらっしゃるようです。町でデザインしたふるさと納税返礼品発送用の統一した段ボール箱を作成する考えはないのか、伺います。

議長（石川良彦君） 財政課長。

財政課長（菅野直人君） お答えいたします。

議員さんのお話にありましたのはそのとおりでございまして、町のほうでもそのようなことができないかというところで見積り等は取っております。現在のというか、昨年度のふるさと納税の額ですと、もう半分はお金として残さなくてはならないということなので、その中でそういう町のPR、宣伝に使えるお金というのは寄附額の半分の1%ぐらいしかないというのが現状でございまして、今年度頑張っただけふるさと納税を増やしまして、そういうふうに使え経費が増えれば、そのようなこともやりたいと思っております。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） 3番のPRの件に入ります。

大郷町には近隣で唯一の道の駅があり、年間60万人以上の来店者があります。そんな中で、秋まつりなどいろんなイベントがあります。昨日、佐々木和夫議員も言っていましたが、ぜひともふるさと納税の返礼品、そのお祭りのとき、1つのブースとしてPR用のポスターなども本当に作っていただいて、ふるさと納税返礼品紹介コーナーなどを設けて、来場していただいた方に大郷町の魅力を感じていただける取組をしたらよいと思うのですが、そのように何かブースとか、そういうものでPRする考えはないのでしょうか。

議長（石川良彦君） 答弁願います。財政課長。

財政課長（菅野直人君） お答えいたします。

そのような場を有効に活用することは、非常に重要だと思っております。今の周年のイベントにつきましてはある程度ブース決めというものも決まっている段階だと思っておりますので、チラシを置いたりですね、そのようなできる範囲のPRをしたいと思っております。

で、そのPRにつきましては、先ほど町長が答弁しましたとおりパンフレットを一部リニューアルしたという形をしておりますが、それにつきまして農政商工課さんの出店等であったり、それから、まちづくりさんのほうのベガルタとの試合等にまさに持って行っていただいて、配布等のほうの御協力もいただいておりますので、そのような機会も有効に活用したいというふうに思っております。

議長（石川良彦君） 鈴木恵子議員。

6番（鈴木恵子君） その中にブースもし入るのならば、事業者さんに協力していただいて、そのサンプル的な何枚だとこれですよみたいな、もう飾

るといふかね、そういうことができれば、ぜひやっていただきたいと思
います。

そして最後ですが、ちょっと提案です。

納税してくださった方は、大郷町のホームページを見てくださっている
方もいると思います。ホームページ上で今年または今月の納税額などを
載せ、ありがたいのメッセージを送ったり、動画をアップし、どのよ
うなことにそのふるさと納税を使わせていただいているのか紹介する取
組をしてはいかがでしょうか、伺います。

議長（石川良彦君） 財政課長。

財政課長（菅野直人君） お答えいたします。

ホームページのほうでは納税額、前年度の納税額、それから今年度の
現在までの税額等の掲載はしております。あと、どのような形で使われ
ているかというところも掲載はしている部分がございますが、より御寄
附頂いた方が見やすく分かりやすいような内容というものはちょっと
考えたいと、改めて考えたいというふうに思っております。（「ありが
とうございます」の声あり）

議長（石川良彦君） これで、鈴木恵子議員の一般質問を終わります。

次に、1番赤間繁幸議員。お願いします。

1番（赤間繁幸君） 通告順位7番、赤間繁幸でございます。

飼料価格の高騰や販売価格の下落によって圧迫されている畜産経営に
ついて、1点御質問させていただきます。

農林水産省が発表しております令和5年の農業物価指数によると、家
畜用の飼料価格は基準年の令和2年と比較した際、約46%上昇している
そうでございます。

一方で、宮城県家畜市場の平均の取引価格は、令和2年と令和5年を
比較した際には約18%、金額で12万円下がっているそうでございます。
その飼料価格が高騰している分を販売価格へ転嫁するどころの話ではご
ざいませぬ。そして、今年令和6年においても、飼料価格は高止まりの
状態でございます。その県での市場の取引価格に至っては、1月から7
月までの間で平均でマイナス21%、金額にするとマイナス15万円となっ
てございます。繁殖農家の経営状況は昨年にも増して、さらに厳しい状
況になってございます。

また、枝肉価格はコロナ禍で外食、輸出、インバウンドが停滞したこ
とにより、令和2年に急落いたしました。国による需要喚起策の効果に
より、一時は回復いたしました。これも昨今の物価高騰の影響により、

消費者の生活防衛意識の高まりで、高級品とされる和牛の消費は落ち込んでいます。そのため、枝肉価格はまた低迷をしている状態でございます。そして、この2年間で肉用牛肥育経営安定交付金が本県では毎月発動している状況でございます。肥育農家の経営も、依然として厳しい状況が続いてございます。

本町の基幹産業は農業でございます。その双肩の一つになる畜産を支えている担い手の方々が、飼料価格高騰と販売価格の下落の二重苦で今大変苦しんでございます。この状況に対して、町の所感をお伺いいたします。

議長（石川良彦君） 答弁願います。町長。

町長（田中 学君） ただいまの赤間繁幸議員の飼料価格の高騰や販売価格の下落によって畜産振興がかなり圧迫されているという、まさに一次産業の国の農業と農政のかみ合わない、そういう現象が、こうして経済の動向によって振り回されるという我が国の農業の現状であります。

8月20日の河北朝刊にも掲載されてございましたが、子牛の取引価格の低迷と飼料代の高騰により、議員の御質問のとおり、畜産農家の経営は逼迫している状況でございます。

そういった状況から、JA宮城中央会は、8月19日に県産和牛の消費喚起や価格高騰対策といった支援策を県に要請するとともに、畜産農家が利用しやすい長短資金の発動も要望いたしました。

県は、飼料高騰対策の継続を検討するほか、子牛価格の下落も融資対象となるよう金融機関と調整してございます。

本町といたしましても、こうしたJAや県の動きの中で、支援策のタイアップができないかと検討しているところでございます。

引き続き、JA等と連携し、国、県に財源的な予算措置と支援策の拡充を強く要望してまいりたいと考えております。

私も宮城県畜産協会の理事でございますので、先日の理事会でも強く働きかけを申し上げてきたところでありますが、今後もさらに、さらに強く要望してまいりたいと考えているところであります。

以上です。

議長（石川良彦君） 赤間繁幸議員。

1番（赤間繁幸君） ただいま国や県へ強く対策を要望していきたいと、力強いお言葉を頂戴しました。

そのような中で、これまで令和2年からですね、本町がその畜産農家に対して行ってきた支援策はどういったものがあるのか、お伺いいたし

ます。

議長（石川良彦君） 答弁願います。農政商工課長。

農政商工課長（本間文二君） お答えいたします。

令和2年以降、新型コロナウイルスの関係もありまして、インバウンドも停滞した中で、そういった牛肉の消費が落ち込んでまいりました。当町としましては、畜産特別対策支援事業交付金としまして、令和2年度におきましては畜産農家37軒に対しまして、繁殖牛、肥育牛合わせて1,721頭分、お金にしまして1,204万5,000円の支援をしております。

令和3年につきましては、畜産支援というより米価下落の支援を行っております。

令和4年度につきましては、同じく畜産特別対策支援としまして、34軒の畜産農家の皆様に、1,701頭を対象に、1,099万4,000円の支援をしております。

また、令和5年度につきましては、畜産農家34軒に対しまして、1,602頭を対象に、325万1,100円の支援をしております。

こちらにつきましては、全て新型コロナの臨時交付金を活用しての支援をしております。

以上でございます。

議長（石川良彦君） 赤間繁幸議員。

1番（赤間繁幸君） 今、その財源のほう为国からの交付金ということだったと思います。

今年度は、冒頭でも申し上げましたが、昨年よりも大変厳しい状況になっていると。その厳しい状況が、もう畜産農家の中では1年以上も続いていると、もう大変厳しいんだという声をお聞きいたします。

その中で、町はその子牛1頭ですね、市場に出るまでの生産費、どれぐらいになるかというのを把握はしているんでしょうか。

議長（石川良彦君） 農政商工課長。

農政商工課長（本間文二君） すみません、生産費についてはちょっと手持ちの資料今ないんですけれども、うちのほうで調べた限りで大郷地区子牛価格、大郷地区の子牛価格をJA等に確認しております。その中で赤間議員さんが先ほど質問の中でおっしゃられていた中のおり、令和4年度と令和5年度で子牛の平均取引価格につきましては、約11万4,000円ほど下落しているという状況を把握しております。

また、肥育牛につきましても、肥育牛は若干の値動きはあるものの、やはり平均で140万円から150万円の間ぐらいということで、昔に比べれ

ばかなり低い販売価格の取引と、大郷地区の管内では、そういった数字は把握しております。

以上でございます。

議長（石川良彦君） 赤間繁幸議員。

1 番（赤間繁幸君） 私もちよっと今子牛の生産費ってどのぐらいなのかなと、30代の、40代の畜産農家の方々にちよっとヒアリングしました。そうしたら、1頭当たり約40万円だということでした。そして、今年の平均子牛の取引価格が55万円です。ということは、1頭出荷すると15万円の上がりが出てくるということですが、その金額15万円ですけども、ざっくりとした上りの15万円、それを町としてはどのようにお感じになるか、お伺いいたします。

議長（石川良彦君） 農政商工課長。

農政商工課長（本間文二君） 確かにその15万円というのをどういうふうに捉えるかというのはあるんですけども、まず町としてはやっぱりこの状況を踏まえまして、令和2年度からいろんな支援をしております。

で、そのほかにもですね、実は町としてはまずは利子補給、農家の皆様がお金を借りたときには利子補給についても、JAさんの資金等を借りた場合は利子補給を支援しております。

さらにですね、例えば、おおさとまつりでの試食販売、これを今年からまた試食も兼ねて消費拡大ということで考えておりますし、喜助さんとの大郷牛とのコラボメニューの開発も行いました。

なおですね、さらにですね、JAの事業に対しまして、これは肥育ですけども、管内肥育素牛販売促進対策事業補助金ということで、あさひな管内で生産された子牛の販売促進を図るために、農協のほうに補助金を出しております。

そのほか、繁殖子牛事故共助事業補助金ということで、こういったものも農協の事業に補助しております。

また、和牛生産協議会という農協さんの協議会に対しましても補助金を出しております、こちらにつきましては繁殖牛、枝肉の共進会経費。

それから、薬剤共同購入の一部助成。それから、牛等ですと様々な予防接種がございます。その一部助成も行っておりますので、そういった直接的なコロナ臨時交付金を使った支援のほかに、毎年恒常的にJAを通していろんな支援をさせていただいているところでございます。

以上です。

議長（石川良彦君） 赤間繁幸議員。

1 番（赤間繁幸君） その間接的な助成を、補助金を出していただいているということですが、それはその令和2年以前からもやっていたものなのではないでしょうか。

議長（石川良彦君） 農政商工課長。

農政商工課長（本間文二君） J Aさん等への支援につきましては、令和2年以前からもやっております。

先ほど申しあげました和牛生産協議会につきましては、昔はそれぞれの団体が和牛の組合と薬剤の団体とあったんですが、それを統合して1つにして、J Aさんに事務局を持ってもらってやっていますが、以前から支援しているものでございます。

議長（石川良彦君） 赤間繁幸議員。

1 番（赤間繁幸君） ということは、やはり苦しくなっても現状が変わっていないということなのかなと思いました。

そこで、先ほど私その生産費が40万円と申しあげましたが、そこにはその親牛の導入費用とか、あとは畜舎の建設費の減価償却とか、そういったものは一切加味されていないということでございました。それを含まれば、もう40万円どころではない。本当に50万円を超えるような金額、生産費になってくるのかなと。そうすると、もうほとんどが生産者の方の手元には残らないという状況に今なっていると思われま

す。こういったことを少し考えながら、3月の予算審議のことをちょっと思い出していました。予算審議の中で、やはりその農業に対する町単独の長短のその予算が少ないのではないかなというふうに感じたんですが、今、予算として幾らぐらいだったか、ちょっと教えていただければと思います

議長（石川良彦君） 農政商工課長。

農政商工課長（本間文二君） お答えいたします。

長短の農業振興補助金につきましては、1,000万円の予算でございます。以上でございます。

議長（石川良彦君） 赤間繁幸議員。

1 番（赤間繁幸君） その1,000万円ということなんですが、やっぱり私はちょっと今の時期は少ないのかなと思います。

で、予算審議の中で総括質疑をさせていただきました。その際に、必要なきにしっかりと補正を組んでいただけるんでしょうかという質問を私町長にしたと思いますが、まさに今がその補正をするときなのかなと私は考えます。

ただ、今回の9月の定例会にはもう間に合わないのかなと思っておりますが、ぜひ12月の定例会にはしっかりと考えていただいて補正を組んでいただき、畜産農家の方へ町単独で補助金を出していただければと思いますが、これは町長いかがでしょうか。

議長（石川良彦君） 答弁願います。町長。

町長（田中 学君） 本町の一次産業、本町というよりも我が国の国民生産性GDPが600兆円、一次産業が約1%なそうです。600兆の1%、6兆円が一次産業だと言われてございますが、その一次産業を国全体で支える産業、二次産業、三次産業で、補助金としていろんな形で農業者に補助金を出している。本来ならば、国家安定に一番国民の健康増進に、命に関わる産業こそが一次産業だ。であれば、もう少し手厚い農政であっていいはずが、全く農業と農政のギャップがある中で、本町も議員のおっしゃっている今畜産農家の場合を申し上げているようではありますが、本町の農家の皆さん、一次産業で生活する人たちからすれば、同じような悩みを抱えながら、農業という大事な産業に従事している皆さんは恐らく責任感の強い皆さんであろうというふうに思います。その場合、本町のできる範囲が1,000万円だということではありますが、それがその足しになる内容にするためには、もう5倍、6倍も資金が必要だというふうに私は思いますが、どうやってそれを生み出すかということも今後のまちづくりの課題であります。今、人口が減少している本町にとって、国では踏むような過疎の町になっているわけではありますが、この過疎から脱却して安定した財政状況をどうつくっていくのかということも、我々に課せられた大きな責任だと思っております。そのために様々な諸政策を用いていかねばなりません。いろいろ今議論されている問題にとっても、人のいないところで生産性の上がるものは私はないような気がする。ですから、何とか生産がバランスよく発展するためには、本町でどれだけの人口が必要なのかということも含めて、新たな未来、まちづくりに真剣に取り組んでまいります。そのためにも今現在大変だと言われる一次産業、畜産の分野を応援できる範囲で頑張りたいと。何を削ることができるかということから入ってまいりたいというふうに思っておりますので、令和7年度の当初予算にその辺を十分考慮した予算編成に議論を醸し出してまいりたいというふうに思っているところでありますので、もう少し12月の定例会までにはという御質問なので、までには何らかの支援策を講じてまいりたいと考えておりますので、それもその効果的な、国、県、町とこの三位一体になって、効果的な支援ができればいいので

はないかというふうに思っておりますので、ひとつそのことも十分考えた上で御提案申し上げてまいりたいというふうに思います。

以上です。

議長（石川良彦君） 赤間繁幸議員。

1 番（赤間繁幸君） 確かに、その国、県、町で三位一体で効果的な対策をしていただく、本当にそうしていただきたいなと思ってございます。

その中でも、やはり私はその長短で、その1,000万円の5倍、6倍とおっしゃいましたが、そんなにでなくてもいいと思うんです、本当に。1頭当たり数千円単位の支援策でも、やはり町が今苦しんでいる畜産農家の方々を支えていくという姿勢が大事なのかなと私は思うわけでございます。それを考えたときに、町としてやはり12月に何とか長短で補助金を出していただけないかと思いますが、もう一度いかがでしょうか。

議長（石川良彦君） 町長。

町長（田中 学君） そのように全身全霊で、前向きに取り組みます。

議長（石川良彦君） 赤間繁幸議員。

1 番（赤間繁幸君） ぜひ、いいお答えをお待ちしております。

そこでもう1点、これ今回この質問を至るに当たりまして、私ちょっと反省をしなければならないことがございました。議員になってから私1度も市場に顔を出していないという状況でございました。で、ある畜産農家の方から先日電話をいただいて、もう本当に苦しいんだと、何とか町に訴えてくれということで、今回この質問をさせていただいたわけでございます。やはり現場に行かなければ、その現場の人たちの気持ちは分からないということでございますので、ちょうど今日19日は市場の日、あさひなの市場の日となっております。19日は議会も閉会となっておりますので、ぜひ早速行ってこようかなと思ってございます。

その方に、ちょっと言われました。執行部の方で市場になかなか来てくれないんだよねと、ぜひ顔出してもらえたらいいなということをおっしゃいました。その点について、ちょっとお答えをいただければと思います。

議長（石川良彦君） いいですか、課長から。答弁願います。最初、課長。町長からでもいいですか。答弁願います、町長。

町長（田中 学君） 私も畜産協会の理事という立場でも御案内でございますので、今回行ってみたいなど。何回か私も市場に参加をして、御挨拶などお願いされたりしたこともございますので、今回は特に危機感を持って参加させていただきたいというふうに思います。

議長（石川良彦君） これで赤間繁幸議員の一般質問を終わります。

ここで10分間休憩といたします。

午 前 10時57分 休 憩

午 前 11時07分 開 議

議長（石川良彦君） 休憩前に続き会議を開きます。

一般質問を行います。3番鈴木利博議員。どうぞ。ちょっと待って、マイク今入れます。鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） 通告順位8番、鈴木利博です。一般質問を行います。

大綱1、小中学校におけるプールにつきまして、近年、プールを使用する期間になると、高温多湿が年々懸念される状況になっております。このように高温が続くことを考えると、小中学校のプールに屋根を設置するなどの対策が急務ではないかと思えます。

子供の数が減少していく中、他の市町村と差別化を図り、子供が安心してプールに入る環境を整備することにより、大郷町の子供への配慮はすごいとなり、移住にも結びつくものと思えますが、町の所感を伺います。

続きまして、大綱2です。

これ3月でも同じような質問をしておりますけれども、移動設置型トイレをということで、本町において災害時にトイレトレーラーを用意しておくべきと考えます。

利府町ではトイレトレーラーではなく、トイレカーを2台取得し、現在、石川県能登町に貸出しをしています。その利用状況をヒアリングすると、令和3年に取得し、今のところ災害での利用例はないものの、イベントなどでの利用で活躍しているようです。取得したきっかけを聞きますと、コロナ時の補助金100%を利用し、取得したようです。

また、大阪府箕面市の導入事例を見ると、予算額2,105万円に対し、緊急防災減債事業費（令和元年度）により、充当率100%掛ける交付税算入率70%で、残りの30%についてはクラウドファンディングによる資金調達により、実質ゼロ円で導入したようでございます。

トイレを唯物で捉えるのではなく、将来の町での活躍、そして災害に大きく寄与できるものと考えます。町の考えを伺います。

大綱3、スカイツリー建設を。

東京スカイツリーが開業してから10年が経過いたしました。経済効果は約7,813億円となっているようです。東京スカイツリーから以北で次のタワーがあるのが、函館市にある五稜郭かと思えます。これらの中間地点が大郷町であります。人口が減少していく中、人口増加に関しての

町の対策は、残念ながら皆無に等しい状況と考えております。

町の歳入は常に逼迫し、将来の光すらも焦点が合わず、気づいたら光から暗闇になるかもしれない状況であるかと思えます。

大衡村、大和町、利府町では希望を持てる話が舞い込んでおり、本町もこれから持続可能な町を創らなければならない。

そこで、町が主体となり、日本一のスカイツリーを建設すれば、大郷町の知名度もアップし、大きなスカイツリー効果も期待できると考えます。町の所感を伺います。

議長（石川良彦君） 答弁願います。初めに、教育長。

教育長（鳥海義弘君） 鈴木利博議員の大綱1つ目、小中学校におけるプールについての御質問に答弁させていただきます。

プール使用の判断は、気温と水温の合計が45度C以上の場合に、水分補給や体調管理に十分な対策を講じて使用しており、65度C以上の場合や熱中症警戒アラートが発令された場合は使用を中止しております。

今年は小学校で17日間、中学校で10日間のプール使用がありました。そのうち、気温水温の基準により授業を中止した日はございませんでした。

また、夏季休業中の小中学校のプール開放は、猛暑や新型コロナウイルス感染症対策により令和4年度より中止し、屋根のあるB&G海洋センタープールの利用を進めてまいりました。

プールへの屋根設置につきましては、今後、検討していきたいと考えております。

以上でございます。

議長（石川良彦君） 次に、答弁願います。町長。

町長（田中 学君） それでは私のほうから、大綱2番目の移動設置型トイレをとの御質問でございます。

既に令和6年3月定例会の一般質問で答弁しておりますが、本町では過去の災害時において、仮設トイレや簡易トイレを設置し、対応してまいりました。

今後も、災害時には仮設トイレや備蓄している簡易トイレを設置し、対応する予定でございますので、トイレトレーラー等の購入の予定はございません。

次に、大綱3つ目、スカイツリー建設の御質問にお答えいたします。

東京スカイツリーは、日本の首都、東京のランドマークの1つとして建設されております。既存の電波塔である東京タワーが位置する都心部

では、超高層ビルが林立しており、電波が届きにくい状況があったため、2012年5月に電波塔・商業施設として開業いたしました。東武鉄道グループが設置したものであります。

新タワー構想では、在京6社のテレビ局が600メートル級の電波塔を求めて推進プロジェクトを発足してございます。建設費400億円、総事業費は650億円となっているようであります。

収益は、テレビ局から賃貸借料として年間20億から30億円及び観光客からの入場料となっておるようであります。

東京スカイツリー周辺は、東京スカイツリーとして、商業施設としても集客が図られてございます。

スカイツリーの入場者数は、2024年5月までで約4,840万人、タウン全体では3億8,390万人が来場しているという数字がございます。

しかしながら、これは先に述べましたが、日本の首都、東京に位置し、経済、観光など全ての中心にある、絶対的に人が集中する場所だからこそと思います。

また、在京6社のテレビ局からの電波塔としての賃貸借料もございません。

今、宮城県または東北地方において電波塔が求められている実態はなく、商業地域だけのスカイツリー建設だけでは、これほどの集客は難しいと考えます。

また、その後の経済効果があったとしても、町の財政的な実現可能な建設費ではありません。町の財政では、現実的な建設費ではないということであります。

しかしながら、持続可能なまちづくりを実現するため、交流人口・関係人口を創出する施策を積極的に実行することは、必要不可欠なことだと考えております。

まずは、本町の予算を有効に活用し、おおさとスマートスポーツパーク構想をしっかりと進めてまいりたいと考えておりますので、御理解をいただきたいと思っております。

以上です。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） では、再質問に入ります。

ちょっと順番が逆になりますけれども、今、最後に町長がお話しされたおおさとスマートスポーツパークのことで、町としてスマートスポーツパーク構想について今後何か考えがあるか、先にちょっとお伺いした

いと思いますが、いかがでしょうか。

議長（石川良彦君） 通告外の内容は、通告の内容に従ってやってください。

3番（鈴木利博君） 分かりました。（「おおさとにお答えしたいと思います」の声あり）

議長（石川良彦君） いやいや、通告外ですから。質問の通告順序でお願いします。どうぞ。会議規則、会議基準に則ってください。どうぞ。1番、大綱1番から。

3番（鈴木利博君） では、大綱1番の答弁の中で、何というんですか、令和4年度より中止してあるということなんですか、今後、例えば令和7年度以降とか、プールの利用をする予定とかというのは、実際どのようにお考えでしょうか。

議長（石川良彦君） 教育長。

教育長（鳥海義弘君） お答え申し上げます。

令和7年度以降もですね、今年度と同様に学校のプールは、小中学校のプールは夏季休業中には開放しないということで進めてまいりたいというふうに考えております。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） それは何か特別な理由があるのでしょうか、どうなんでしょう。

議長（石川良彦君） 答弁願います。教育長。

教育長（鳥海義弘君） 先ほども答弁申し上げましたけれども、夏休みの子供たち、学校のプールを開放しますと小中学校に通うということになるわけでございますけれども、スクールバスは運行しておりません。そういう意味において、その辺の学校スクールバスのね、運行もございまして、それから、何よりもやっぱりこの頃の非常に猛暑が厳しいということで、学校のプールで子供たちを安心安全に水泳させるということは難しいという判断でございます。

もう一つ加えるのであれば、先生方の県費負担制の教職員の働き方改革ということもございまして、総合的に勘案してB&Gのプールを開放して、それに代替しているということでございます。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） そのプールのことで前にちょっとニュースにもあったんですけれども、熊本県の人吉というところで、水泳の授業で遅れた方に罰としてはだしで走らせて、やけどをさせたということがあったと思うんですけれども、実はそこにちょっと着眼点を置いて、その屋根という

ところをちょっと私が考えたんですけれども、例えば、学校側でそのプールサイドというのは多分相当暑いかなと思うんですけれども、実際、教育長さん、教育課長が自ら行って、そのプールサイドの実際のその温度というのを体験したこととか、そういうのって実際ありますか。

議長（石川良彦君） 答弁願います。学校教育課長。

学校教育課長（角田倫明君） お答えいたします。

最近に関しては、プールサイドに行って確認したことはございません。

議長（石川良彦君） 教育長ないですか。教育長。

教育長（鳥海義弘君） お答えします。

私も、実際に小中学校のプールに行って確認したことはございません。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） 私もないんですけれども、暑いというときはやはり学校の先生方に全部委ねるわけではなく、やはり一度自分の足で本当に靴下を脱いで体験してみるのもひとついいのではないかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

議長（石川良彦君） 答弁願います。どっちか、教育長。

教育長（鳥海義弘君） 非常に大事な御指摘だと思いますので、暑くなってきたなど、あるいはそういう天気予報等で確認ができれば、足を運んで、実際に自分も体験したいというふうに思います。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） プールへの屋根設置については今後検討していきたいという考えということなんですけれども、検討というのはいろいろ意味合いがあるかと思うんですけれども、この場しのぎの検討か、本当に検討していくのか、どのぐらいのめどでやる予定で考えていらっしゃるのか、ちょっと具体的なビジョンがあればお知らせください。

議長（石川良彦君） 学校教育課長。

学校教育課長（角田倫明君） お答えいたします。

プールの耐用年数につきましては、一般的におおむね40年とされております。現在、小学校で32年、中学校で27年ほど経過してございます。年数も経過しておりますが、年々、老朽化により修繕等の費用が増している状況でございます。プールだけではなくて、校舎につきましても相当年数がたっておりまして、そちらの建設であったり、修繕であったりというところも検討しなければいけない時期に入っております。

もう一つ、児童生徒の減少が今後予想されまして、それぞれの建て替えなのか、または合わせた形がいいのかなど、検討が必要な時期に入っ

ていると思っております。

以上でございます。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） 確かに老朽化もかなりもう進んでいらっしゃると思いますので、その辺のタイミングもいろいろあるかと思えます。

あと、昨日議員の中で、質問の中で着泳のお話があったんですけども、これ実際学校のプールとかで実際体験しているんですか、それとも何か特別な場所に行っているのか、もしその辺分かったら教えていただきたいと思えますけれども。

議長（石川良彦君） 学校教育課長。

学校教育課長（角田倫明君） プールのほうで実際に着衣の上、水泳の指導をしております。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） それは全員ですか、希望者だけですか。

議長（石川良彦君） 学校教育課長。

学校教育課長（角田倫明君） 小学校の4年生と6年生対象にはしておりますが、そこで全員対象ではありますが、希望者なのか、実際に確認まではしてございません。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） 分かりました。

もし可能でしたら、これ子供さんだけではなくて、大人もやっぱり溺れることもあるかと思えますので、そこまで拡大解釈していただければありがたいかなと思えます。

続きまして、大綱2番の移動型設置トイレなんですけれども、こちら結論からいうと購入予定はないということなんですけれども、どうしてないんでしょうかね。

議長（石川良彦君） 答弁願います。総務課長。

総務課長（熊谷有司君） 町長の答弁にはございますが、過去の災害の発生時に町では仮設トイレや簡易トイレで対応してまいりました。

前回、令和元年の東日本台風時の例を挙げますと、仮設トイレが約3か月、85日間利用したわけでございますが、それで53万6,000円ほどの経費でございました。

あとは簡易トイレにつきましては、今、それぞれの避難所、ある程度の避難所に用意してございまして、それをもし災害時に避難所をとったときには、それらを活用しながら対応していけるということでござい

ます。

トイレトレーラー等につきましては全国的にいろいろありますし、今回の元旦の能登半島地震でも、全国各地からそれは集まった中で今利用されているというのを報道で確認しているところでございますが、実際、これを用意してどのような利活用方法があるのか、災害時には利用するわけでございますが、災害につきましては毎年のようにあるわけではなくてですね、何年に一遍というようなことでございますので、その管理もかかるわけでございますし、それなりのスペースがございますので、それらも含めた中で総合的に判断した中で、町とすれば仮設トイレ等を利用した中で対応できればというようなことで考えているところでございます。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） 何というか、購入する予定がないということで、考えは多分変わらないとは思いますが、この緊急防災・減災事業費というのは7割が使えるので、非常に大きいところだと思うんですね。実際に私も利府町に行って、ここに書いてあるとおりに取得したときのきっかけを聞くと、コロナのときの事業費を使って実際に取得しているんですけども、実際に隣町の利府であって、大郷でないということで執行部としてどうですか。恥がないとか、どうでもよいとか、トイレだからどうでもいい、その辺ざっくばらんにいかがでしょうか。

議長（石川良彦君） 総務課長。

総務課長（熊谷有司君） それにつきましては隣町にあるからとかではなくてですね、どのような利活用方法があるか。例えばイベント、今年も10月26日にお祭りがございます。その際に利用するとかですね、それも多分4基ぐらいしか多分ないと思うんですよ、トイレのスペースがですね。多分もっとやっぱりお客さんも来場者が多ければ、仮設トイレのほうがある程度の台数も設置可能なこともございますので、その辺、毎年町として利活用していくということであれば必要かもしれませんが、先ほども申しましたとおり、仮設等によりましていろんなイベント時も可能かと思っておりますので、隣町村がそのような町があるから本町もということではなくて、そこは財政的にもいろんな条件がございますので、利府町さんはいろんな、また別な事業で対応されたということでございましたので、本町は本町での対応ということで考えてございます。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） そうですか。まだ期間もありますので、また考え直して

いただいて、また再質問次回とかまたするかもしれません。私も町長に倣って少し頑張りたいと思いますので、よろしく願います。

続きまして、スカイツリー建設についてなんですけれども、答弁を見ると予想以上に何か丁寧な答弁をいただき、ありがとうございます。

これを見ると、確かに総事業費が650億円ということですよ。ただ、経済効果がちょっと私もネットで見たら、大体7,800億円ぐらいあるということで、ちょっとネットには記載されてあったんですね。その7,800億円のその経済効果というのはどうお考えですか、町としては。

議長（石川良彦君） 答弁願います。町長。

町長（田中 学君） 日本の首都らしい、人口も東京都の人口は約日本の1割を数えてございます。1,400万人の人口を抱えている事業としては、当然、このぐらいの利用者がなければ成り立たない事業でもあるなと思いますので、本町の場合は人口7,500人であります。7,500人の町、人口よりもこの事業がこの東北で本当に必要な事業であれば、恐らく人口の多い仙台市あたりはこれをもう既に、あの八木山にアンテナなどを立てないでですね、やっているのではないかというふうに思いますが、本町の場合はまだここまで来ておりません。今やらなければならないという喫緊の課題を解決、私はする方向に 대응しますので、鈴木議員のこのすばらしい発想、これは私は別に否定するものでもございませんし、このような事業ができるような町になりたいなという、そんな思いはございます。このぐらいの効果のある事業をやってみたいなという思いはございますが、今の本町の現状では、それは私はできないと申し上げたほうが適切ではないかというふうに思いますので、できるものからやりたいなというふうに思っております。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） なかなかこの一般質問で分かりましたというふうにはならないのは、もう重々分かっております。ただ、私はこのスカイツリーのもしやった場合のことを私なりにちょっと絵を描いてみたところなんですけれども、やっぱりスカイツリーをもし建設できるとして、やっぱり今東京スカイツリーが大体634メートルあるんですね。それよりも高いものを建てれば、もちろん日本一になるわけじゃないですか。今、スポーツパークも日本一みたいな、サッカー場のやつをやっていますけれども、日本一になればですね、日本の中でやっぱり大郷を知らないという人はもういなくなると思うんですね。知名度はもう必然的にもうアップするわけじゃないですか。そう思いませんか、町長。

議長（石川良彦君） 直接やり取りしないで。いいですか。町長。

町長（田中 学君） それを立地するだけの本町には環境でないということを申し上げて、私の考えはそうであります。もし東京と肩を並べてできるような条件が整っている町であれば、東京を超すような、大郷町が大阪であれば、できないことはないというふうに思いますが、この大郷ではちょっとあまりにも環境も違う、条件もない。そういうことで、条件探しをまずこれから努力をしてまいりたいというふうに思います。議員にもひとつお手伝いをいただいて、前向きに取り組むという環境が整ってあれば、私は十分その考え方に賛同できないものではないというふうに思います。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） 何というんですかね、ちょっと話が変わりますけれども、飛行機が今飛んで、何年たったか大体分かりますか、町長。

議長（石川良彦君） その質問でなく。

3番（鈴木利博君） いや、いや、ちょっとまず。

議長（石川良彦君） では、町長。

町長（田中 学君） 空を飛んでみたいという科学者が飛行機を発明したといったときから数えますと、幾らになりますか。多分、300年ぐらいになるんじゃないですか。

議長（石川良彦君） 答えはなくて大丈夫ですから。鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） すみません、何でそういう質問をしたかというのと、ライト兄弟が飛行機を飛ばしたわけじゃないですか。それから数えると、今、大体121年なんですね、121年。たった120年なんですよ。当時、ライト兄弟というのは飛行機で空を飛ぶと言ったときに、周りから結構気違いだとか、結構言われたときなんですね。

私も今そのスカイツリーの話をして、もしかしたらそう思われているかもしれないですけども、それはいいんですけども、やはりですね、やっぱり当たり前の発想ばかりやっていたら、結局当たり前にしかないわけじゃないですか。特に大郷はもう人口が減っていくのはもう分かっているわけですから、それを起死回生するには、やはりこういった何か考え方をですね、考え方プラス実行でしていかないと私はいけないんじゃないかなというふうに思うんですね。

幸いに大郷町の場合は、隣町に日本三景松島があるわけですよ。大体、日本三景松島の場合の年間の来場者が調べると600万人だったかな。2019年で、松島大体年間600万人台来ているんですよ。600万人というと

道の駅の約10倍かな、ぐらいの人口が来ているわけですよ。

スカイツリーあたりの人口の平均を見ると、大体年間400万人ぐらい来ているわけですよ、調べるとですね。大体1回当たりの乗って、乗車するときの料金が3,000円が平均だとすると、その3,000円かける400万人でいくと大体120億円ぐらいになるのかなと思うんですね、年間。それを12で割ると、120を12で割ると月当たり大体10億円ぐらいにはなる、大体計算なんですよ、私がちょっと試算すると。大体、分かっていたいただけますかね。

そういうところもあって、それでですね、スカイツリーの事業費は先ほど答弁にありますけれども、大体当時600億円ぐらいかかったということになっておりまして、例えば、もし今建設するとすると、少し土地をひっくるめ、建設費のアップも鑑みますと、大体約1,000億円ぐらいになろうかと思えます。1,000億円という金額はもちろん町では当然なかなかね、出資するというのも難しいので、そこで例えば金融機関から融資を受けたと仮定した場合、それは町に対してね、融資するかどうかは別にしてですよ。例えば、1億円を融資して、20年という償還期間で金利1.5%とした場合、1億円あたりが大体48万2,545円なんですよ。これを1,000倍すると、4億8,200何がしになるわけですよ。これが大体毎月の支払いになるわけです。先ほどの経済効果の7,800億円を低めにし、年間6,000万円だったと仮にいたしましょう。その6,000億円を10年で割ると、1年あたりが大体600億円になるわけですよ。その600億円を月で12で割ると、1か月あたりが大体経済効果が50億円になるんじゃないかと私の勝手な想像なんですけれども、そうすると大体町の1年分に近い数字になると思うんですね、50億円というのは。そのうち経済効果のうちスカイツリーの利用とか入れると、25%がそれに相当するとなると、大体12.5億円ぐらいになると思うんですね。その12.5億円の中から、金融機関への支払いは大体5億円弱。そして、残りの修繕積立てが3億と。すると、それを引いていくと大体残りが大体4.5億円ぐらいあるんです。その4.5億円があったとしたら、そのうちの2億円を例えば毎月町のために利用できたらどうでしょうかね。年間24億円ぐらいになるわけですよ。どうぞ。

議長（石川良彦君） 町長。

町長（田中学君） 行政として、今、議員がおっしゃったような内容で、この事業をやろうと私が議会に提案したら、議員の皆さん、ああ、これはすばらしいなど、東京スカイツリーよりも2メートル高い設計だなど、

これなら日本一だなということに理解をしていただけたらと思いますが、と思いますが、多分駄目だというふうになろうかと思いますが。

大郷町に誰か事業者がこういうものをここに設置したいので、何とか土地を行政としてお願いできないかと言われたのであれば、私はオーケーして、いろいろ町のためになるというふうに思いますが、まず、これを行政が先頭に立って世間様にアピールしたって、恐らくそれは叶うものではないというふうに思いますが、その我々が考えることのできない、あなたのその奇想天外な発想はすばらしいと私は尊敬しながら、今後、そういう町になることを大いに期待を申し上げたいと思いますので、よろしくどうぞスカイツリーに限らず、小さいことよりも大きいことのほうが私は理解もできますが、また、小さいのも必要なものもいっぱいございますので、その辺のバランスの取り方を議会と執行部がかみ合うような内容でありたいというふうに思いますが、あなたの考えは悪いとか何とか、そういう否定的な話ではございませんので、ただ、町としては世間にこういう考えがあるんですが、どなたかお願いしたいと言っても、多分今の状況ではないというふうに思いますが、それは未来に向かって、そういう東京のスカイツリーを超すようなまちづくりがこれから求められるとすれば、みんなでその目標に向かって頑張っていきたいというふうに思います。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） 今町長の言ったように、どこかそういった事業者が来て、あればもう本当に夢のような、ただ、それはまずほぼ皆無に近いんじゃないかと思いますが。なぜかという、大郷でそれをやるという人はまずばくちよりひどいかなと思うんですね、実際問題。そこでやはり誰がやらないといけないかという、やはり町だと思うんですよ。何で町がやらないといけないかという、結局、最終的には持続可能な町をつくるためには、やっぱり自分の町がやっぱりある程度稼いでいかないと、もうやっぱり収入、税収だけでは、もうやっぱりもういずれパンクするのはもう目に見えていると思うんですね。

そういうところもいろいろありまして、例えば今最近、大衡では半導体工場が来るということで大きな期待感があると思うんですけども、例えば、大衡に来る半導体工場の経済効果と、先ほどのスカイツリーの経済効果というのはなかなかちょっと比較できないかなとは思いますが、ただ私が1つ言えることはですね、例えば大衡の半導体工場は今来るということで、すごく町もにぎわっているというか、すごくウ

エルカムな状態だと思うんですね。でも、いずれ例えばそれがもう撤退する時期が来たらどうですか。非常に寂しくなると思いませんか。そうですね、どうですか。

議長（石川良彦君） その問いに答え要らない。先に継いで。

3番（鈴木利博君） そこでですね、例えば、その半導体工場が来るというのは、要は他力なわけじゃないですか。先ほども何回も言っていますけれども、スカイツリーを町でやれば、他力じゃなくて自力なわけじゃないですか。そうすると、その半導体工場のように他力で来て、いづれなくなっていくことを考えるのと、町が主体としてやっていけば、スカイツリーが倒れない限りはずっと継続していくものと思うんですけれども、どうでしょうか。

議長（石川良彦君） 答弁願います。町長。

町長（田中 学君） 全く事業視点も全然違う業種であって、これはこのスカイツリーはサービス業ですよ、言ってみれば。第三次産業で、人が来ないところで成り立たない。半導体は、第二次産業ですから。これは今、国挙げてですね、あの造成工事も宮城県の土地開発公社がやっているわけですから、県がかりでやっているんです、国がかりで。これからその都市計道路の整備、工業用水の準備、いろんなそういう環境にも何千億円とかかかっていくわけで、我々の今この町の置かれている立場は、ものづくりできる自治体ではないと、ものづくりできる自治体ではないと。この水を使ったり、この電力を使ったりする環境にこの町がないので、それを準備するのに何十年もかかるよと。宮城県そのものが、大郷は工業立町でない、農業立町という立場でここまで来たわけですから。合併した当初の姿から多少は変わってまいりましたが、まず、大松沢にしても、粕川にしても、公共施設のない場所になってまいりました。これを少しでも回復するためにも、すぐスポーツへ行くという言葉につながっていくわけなんです、今の段階では、今置かれている立場からすれば、その事業をやって交流人口を図り、関係人口を図って、少しでも町に居住できるような環境も一緒に整備していかなければと、それも人口減少でこの町が維持できなくなれば、当然、大和町中村という住所にもなりかねない状況に追い込まれるよと。

議長（石川良彦君） 町長、町長。企業が持つんじゃないかと。

町長（田中 学君） はい、すみません。

議長（石川良彦君） 町で持てば、そういう効果があるんでないかという質問なので、そこに答えてください。

町長（田中 学君） そのスカイツリーはできないし、また、大衡のような企業も呼び込むことは、町、一町ではできないということを申し上げて、御理解をいただきたいというふうに思います。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） では、先ほどの農業とかの話なんですけれども、でも、今後のやっぱり本当に持続可能なこのまちづくりのことを考えると、やっぱり稼がないと駄目だと思うんですね。これはもう紛れもない事実だと思うんですよ。じゃあ、何で稼いだらいいと思いますか、SSPですか。

議長（石川良彦君） そこではなくて、範囲内でどうぞ。その辺、どうぞ。

3番（鈴木利博君） ですから、稼げる対策、稼げる方法としてね、要はスカイツリーは現実問題できないということであれば、そのほかに何かその町として稼げる何か施策というか、何かそういうものというのは考えていらっしゃいますか。

議長（石川良彦君） 簡単にどうぞ。町長。

町長（田中 学君） もちろん地方創生、この地方が生きていくためのいろんなその在り方についても、まず人口のいないところで産業が起きないということです、簡単に言うと。人口のいないところで産業は起きない、経営も成り立たないと。人がいないところで店広げたって、誰も買いに来る人がいなければ、できません。ある程度の固定した人口を抱えていくのには、大郷町も1万5,000人ぐらいまでは最低でも戻さなくちゃないという努力をしなくちゃないと。今の倍にすれば、合併当初の人口になれば、何とか大郷町自立可能な町になるというふうに思います。

ようやくこの3割自治でここまで努力をしてきて、今、15億円の町税になってまいりました。20億円にするためには、あと5億円稼がなければなりません。そのためには今の人口ではとても難しいというふうに思いますので、その辺などもこの新しい事業に取り組む、取り組んでこそ初めて成果の出るような努力をすれば、私はもうこの町も持続可能な町であるというふうに思います。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員。

3番（鈴木利博君） 人口増加というお話が出ましたけれども、ちょうど議員になって1年たつわけなんですけれども、これ前にもちょっと質問したことありますけれども、実際人口が増える何か具体的なものって考えていらっしゃいますか。多分ここ1年の間って、人って増えていませんよね。宅地も造成しているわけでもないし、空き家バンクもそのとおりだ

し。

議長（石川良彦君） 鈴木利博議員、そこは別の場で議論してください。

3番（鈴木利博君） 分かりました。

では、以上で終わります。

議長（石川良彦君） 決算審査等もありますので、よろしくお願ひします。

これで鈴木利博議員の一般質問を終わります。

ここで昼食のため休憩といたします。

再開は午後1時15分といたします。

午 前 1 1 時 5 4 分 休 憩

午 後 1 時 1 5 分 開 議

議長（石川良彦君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

-
日程第3	議案第41号	おおさとスマートスポーツパーク構想実施について町民の賛否を問う住民投票条例の制定について
日程第4	議案第42号	大郷町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例及び大郷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
日程第5	議案第43号	大郷町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
日程第6	議案第44号	大郷町コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
日程第7	議案第45号	大郷町すこやか子育て医療費の助成に関する条例の一部改正について
日程第8	議案第46号	大郷町母子・父子家庭医療の助成に関する条例の一部改正について
日程第9	議案第47号	大郷町障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について
日程第10	議案第48号	大郷町国民健康保険条例の一部改正について
日程第11	議案第49号	令和6年度大郷町一般会計補正予算(第5号)

- 日程第12 議案第50号 令和6年度大郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 日程第13 議案第51号 令和6年度大郷町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 日程第14 議案第52号 令和6年度大郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 日程第15 議案第53号 令和6年度大郷町水道事業会計補正予算（第1号）
- 日程第16 議案第54号 令和6年度大郷町下水道事業会計補正予算（第1号）

議長（石川良彦君） 日程第3、議案第41号 おおさとスマートスポーツパーク構想実施について町民の賛否を問う住民投票条例の制定について、日程第4、議案第42号 大郷町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例及び大郷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、日程第5、議案第43号 大郷町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について、日程第6、議案第44号 大郷町コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について、日程第7、議案第45号 大郷町すこやか子育て医療費の助成に関する条例の一部改正について、日程第8、議案第46号 大郷町母子・父子家庭医療の助成に関する条例の一部改正について、日程第9、議案第47号 大郷町障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について、日程第10、議案第48号 大郷町国民健康保険条例の一部改正について、日程第11、議案第49号 令和6年度大郷町一般会計補正予算（第5号）、日程第12、議案第50号 令和6年度大郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）、日程第13、議案第51号 令和6年度大郷町介護保険特別会計補正予算（第1号）、日程第14、議案第52号 令和6年度大郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）、日程第15、議案第53号 令和6年度大郷町水道事業会計補正予算（第1号）、日程第16、議案第54号 令和6年度大郷町下水道事業会計補正予算（第1号）を一括議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

まず、議案第41号について説明を求めます。総務課長。

総務課長（熊谷有司君） 皆さん、こんにちは。それでは、議案第41号の提案理由を申し上げます。

議案書3ページをお開き願います。

議案第41号 おおさとスマートスポーツパーク構想実施について町民の賛否を問う住民投票条例の制定について

おおさとスマートスポーツパーク構想実施について町民の賛否を問う住民投票条例を別紙のとおり制定するものとする。

令和6年9月4日 提出

大郷町長 田 中 学

初めに、本条例の制定理由につきまして申し上げます。

制定理由でございますが、おおさとスマートスポーツパーク構想の実施について町民の意思を確認することを目的として制定するものでございます。

4ページを御覧いただきます。

別紙、同条例の条文を説明いたします。

まず、第1条の目的でございますが、おおさとスマートスポーツパーク構想の実施について町民の意思を確認することを目的と規定したものでございます。

次に、第2条は住民投票を規定したものでございます。

第1項では、住民投票の選択肢を規定したものでございます。

第2項では、住民投票は町民の自由な意思が反映されるものでなければならないことを規定したものでございます。

次に、第3条は住民投票の執行を規定したものでございますが、第1項では、住民投票は町長が執行することを規定したものでございます。

第2項では、住民投票の管理及び執行に関する事務を選挙管理委員会に委任することができることを規定したものでございます。

次に、第4条は住民投票の期日を規定したものでございます。

第1項では、住民投票の期日をこの条例の施行日から90日を経過する日までの間において、町長が定めることを規定したものでございます。

第2項では、投票日を定めるときは、投票日の5日前までに告示するとともに、選挙管理委員会に事務を委任したときは、投票日を選挙管理委員会に通知することを規定したものでございます。

次ページを御覧いただきます。

次に、第5条は投票資格者を規定したものでございます。

第1項では、満18歳以上の日本国籍を有する者で、引き続き3か月以

上、本町に住所を有する者と規定したものでございます。

第2項では、公職選挙法又は政治資金規正法の規定により選挙権を有しないとされる者は、住民投票における投票の資格を有しないと規定したものでございます。

第6条は、投票資格者名簿の調製を規定したものでございます。

第7条は、投票の方式を規定したものでございます。

第1項では、住民投票は1人1票とし、秘密投票とすることを規定したものでございます。

第2項では、投票用紙への記載等について規定したものでございます。

第3項では、代理投票について規定したものでございます。

第8条は、投票用紙の様式を規定したものでございます。

次ページを御覧いただきます。

第9条は、投票所における投票を規定したものでございます。

第10条は、期日前投票等を規定したものでございます。

第11条は、投票の秘密保持を規定したものでございます。

第12条は、情報の提供を規定したものでございます。住民投票の適正な執行を確保するため、おおさとスマートスポーツパーク構想に関して投票者資格者が意思を明確にするために必要な情報を、公平かつ公正に提供することを規定したものでございます。

第13条は、投票の促進を規定したものでございます。

第14条は、投票運動を規定したものでございます。

第15条は、無効投票を規定したものでございます。

第16条は、投票結果の告示等を規定したものでございます。住民投票の結果が確定したときは速やかに告示し、町議会議長にその内容を通知することを規定したものでございます。

次ページでございます。

第17条は、投票結果の尊重を規定したものでございます。町長はおおさとスマートスポーツパーク構想の実施に関する事務の執行に当たり、住民投票において示された民意を尊重して行うものと規定したものでございます。

第18条は、投票及び開票を規定したものでございますが、住民投票の投票及び開票については公職選挙法施行令及び公職選挙法施行規則の規定により行われる大郷町議会議員及び大郷町長の選挙の例によると規定したものでございます。

第19条は、規則への委任規定でございます。

附則の第1項は、施行期日を定めたものでございます。公布の日から施行するものでございます。

附則の第2項は、執行を定めたものでございます。投票日の翌日から起算して、90日を経過した日にその効力を失うものでございます。

おおさとスマートスポーツパーク構想実施について町民の賛否を問う住民投票条例の制定についての提案理由の説明といたします。

以上議案第41号につきまして、よろしく御審議の上、御可決賜わりますようお願い申し上げます。

議長（石川良彦君） 以上で、議案第41号について説明を終わります。

次に、議案第42号について説明を求めます。保健福祉課長。

保健福祉課長（伊藤義継君） それでは、議案第42号について御説明申し上げます。

議案書8ページをお開きいただきたいと思います。

議案第42号 大郷町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例及び大郷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

大郷町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例（平成27年大郷町条例第2号）及び大郷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例（平成27年大郷町条例第1号）の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものとする。

令和6年9月4日提出

大郷町長 田 中 学

初めに、本議案の提案理由を御説明申し上げます。

今回の条例制定は、介護保険法施行規則において規定されている地域包括支援センターの職員配置基準について、職員の人材確保が困難になっている状況を踏まえて配置基準の緩和が行われたことに伴い、介護保険法施行規則を基に基準を定める当該条例の改正を行うものでございます。

次のページを御覧ください。

第1条においては、大郷町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の改正となります。

条例第4条第1項では、地域包括センターにおける常勤職員数を規定しておりますが、改正によって地域包括支援センター運営協議会が認め

るときには、常勤職員と非常勤職員の合計勤務時間を常勤換算方法により計算し、職員数を算出できるものとしております。

第2項には、同じく地域包括支援センター運営協議会が認めるときには、複数の地域包括支援センターが担当する区域の合計被保険者数に応じた常勤職員数を個々のセンターに振り分けて配置することで、配置基準を満たしたことにする規定を新たに加えるものです。

第2条においては、大郷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の改正となり、介護保険法施行規則の改正に伴う該当条項の改正となるものでございます。

なお、附則としまして公布の日から施行し、令和6年4月1日から適用するものでございます。

以上で、議案第42号の説明を終わります。

議長（石川良彦君） 以上で、議案第42号について説明を終わります。

次に、議案第43号及び議案第45号、議案第46号、議案第47号並びに議案第48号について説明を求めます。町民課長。

町民課長（千葉 昭君） それでは、議案第43号につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

議案書11ページを御覧ください。

議案第43号 大郷町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

大郷町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例（平成27年大郷町条例第30号）の一部を別紙のとおり改正するものとする。

令和6年9月4日提出

大郷町長 田 中 学

今回の条例改正は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律、いわゆるマイナンバー法などの一部を改正する法律が公布されたことにより、同法を引用する本条例の一部を改正するものでございます。

次のページの別紙にて御説明申し上げます。

改正の内容といたしましては、第2条において用語の意義を定義づけしておりますが、同法から引用する特定個人番号利用事務と利用特定個

人情報の2つの号を新たに追加するものです。

また、第4条の条文中の文言について、法律との整合性を図るため、同様に修正を行うものです。

附則といたしまして、施行期日を公布の日とするものでございます。

以上、議案第43号につきまして提案理由の説明といたします。

続きまして、議案第45号につきまして提案理由の御説明を申し上げます。

議案書17ページを御覧ください。

議案第45号 大郷町すこやか子育て医療費の助成に関する条例の一部改正について

大郷町すこやか子育て医療費の助成に関する条例（平成24年大郷町条例第17号）の一部を別紙のとおり改正するものとする。

令和6年9月4日提出

大郷町長 田 中 学

今回の条例改正は、令和5年6月5日にマイナンバー法などの一部を改正する法律が公布されたことにより、令和6年12月2日から保険証の新規発行が廃止されることに伴い、本条例の一部を改正するものでございます。

改正の内容といたしましては、これまで医療機関の窓口で行っていた被保険者の資格の確認方法を、従来の保険証からマイナ保険証と呼ばれる利用登録をしたマイナンバーカードに変更するものでございます。

なお、マイナンバーカードを取得していない方につきましては、これまでの保険証と同等の効力を有する資格確認書と呼ばれるものを発行し、対応いたします。

附則といたしまして、保険証の新規発行が廃止される令和6年12月2日を施行期日とするものでございます。

以上、議案第45号につきまして提案理由の説明といたします。

続きまして、議案第46号につきまして提案理由の御説明を申し上げます。

議案書19ページを御覧ください。

議案第46号 大郷町母子・父子家庭医療の助成に関する条例の一部改正について

大郷町母子・父子家庭医療の助成に関する条例（平成16年大郷町条例第11号）の一部を別紙のとおり改正するものとする。

令和6年9月4日提出

大郷町長 田 中 学

今回の条例改正は議案第45号と同じで、令和5年6月5日にマイナンバー法などの一部を改正する法律が公布されたことにより、令和6年12月2日から保険証の新規発行が廃止されることに伴い、本条例の一部を改正するものでございます。

次のページの別紙にて御説明を申し上げます。

改正の内容も議案第45号と同じで、これまで医療機関の窓口で行っていた被保険者の資格の確認方法を、従来の保険証からマイナ保険証と呼ばれる利用登録をしたマイナンバーカードに変更するものでございます。

附則といたしまして、保険証の新規発行が廃止される令和6年12月2日を施行期日とするものでございます。

以上、議案第46号につきまして提案理由の説明といたします。

続きまして、議案第47号につきまして提案理由の御説明を申し上げます。

議案書の21ページを御覧ください。

議案第47号 大郷町障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について

大郷町障害者医療費の助成に関する条例(平成16年大郷町条例第10号)の一部を別紙のとおり改正するものとする。

令和6年9月4日提出

大郷町長 田 中 学

今回の条例改正はこちらも議案第45号、46号と同じで、令和5年6月5日にマイナンバー法などの一部を改正する法律が公布されたことにより、令和6年12月2日から保険証の新規発行が廃止されることに伴い、本条例の一部を改正するものでございます。

次のページの別紙にて御説明を申し上げます。

改正の内容も議案第45号、46号と同じで、これまで医療機関の窓口で行っていた被保険者の資格の確認方法を、従来の保険証からマイナ保険証と呼ばれる利用登録をしたマイナンバーカードに変更するものでございます。

附則といたしまして、保険証の新規発行が廃止される令和6年12月2日を施行期日とするものでございます。

以上、議案第47号につきまして提案理由の説明といたします。

続きまして、議案第48号につきまして提案理由の御説明を申し上げます。

議案書の23ページを御覧ください。

議案第48号 大郷町国民健康保険条例の一部改正について

大郷町国民健康保険条例（昭和34年大郷町条例第4号）の一部を別紙のとおり改正するものとする。

令和6年9月4日提出

大郷町長 田 中 学

今回の条例改正はこちらも議案第45号、46号、47号と同じで、令和5年6月5日にマイナンバー法などの一部を改正する法律が公布されたことにより、令和6年12月2日から保険証の新規発行が廃止されることに伴い、本条例の一部を改正するものでございます。

次ページの別紙について御説明を申し上げます。

改正の内容でございますが、被保険者証の返還に応じない者に対しましては、国民健康保険法に基づく罰則として10万円以下の過料を科すとされてございますが、被保険者証そのものがなくなることから、それに係る文言を削除するものでございます。

なお、経過措置として、施行日以降の行為につきましては、従来の罰則規定が適用される旨を定めます。

附則といたしまして、保険証の新規発行が廃止される令和6年12月2日を施行期日とするものでございます。

以上、議案第48号につきまして提案理由の説明といたします。

ただいま御説明いたしました議案第43号、議案第45号、議案第46号、議案第47号、議案第48号につきまして、御審議の上、御可決賜われますようお願い申し上げます。

議長（石川良彦君） 以上で、議案第43号及び議案第45号、議案第46号、議案第47号並びに議案第48号について説明を終わります。

次に、議案第44号について説明を求めます。社会教育課長。

社会教育課長（片倉 剛君） それでは、議案第44号につきまして提案理由の御説明を申し上げます。

議案書13ページを御覧ください。

議案第44号 大郷町コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

大郷町コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例（昭和60年大郷町条例第18号）の一部を別紙のとおり改正するものとする。

令和6年9月4日提出

大郷町長 田 中 学

今回の条例改正につきましては、大郷町粕川地区防災コミュニティーセンターの開設に伴い、本条例に当該施設を追加し、使用料等を定め、管理を法人その他の団体であって町長が指定する者に管理を行わせることができることとするものです。

次ページの別紙にて御説明申し上げます。

条例第2条第2項に名称及び位置を加えるものでございます。

条例第9条では、多目的ホール、会議室1、2、和室、調理室、カフェキッチンスペースの施設使用料及び冷暖房料を定めるものでございます。

第12条では、施設の管理を指定管理者に行わせることができることを定め、その期間を5年以内と定めるものでございます。

第13条では、指定管理者が行う業務の範囲を定めるものでございます。

第14条では、施設の管理を指定管理者が行う場合の利用料金を町長の承認を得て定めるものでございます。

附則といたしまして、令和7年4月1日から施行するものでございます。

また、施設の利用許可及び指定管理者の指定に関し、必要な手続、その他の行為はこの条例の施行日前においても行うことができると定めるものでございます。

以上、議案第44号につきまして提案理由の説明といたします。

ただいま御説明いたしました議案第44号につきまして、御審議の上、御可決賜われますようお願い申し上げます。

議長（石川良彦君） 以上で、議案第44号について説明を終わります。

次に、議案第49号について説明を求めます。財政課長。

財政課長（菅野直人君） それでは、議案第49号 一般会計補正予算（第5号）につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

補正予算書2ページをお開き願います。

議案第49号 令和6年度大郷町一般会計補正予算（第5号）

令和6年度の大郷町の一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算補正）

第1条 既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億9,600万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ62億8,899万4,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並

びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(債務負担行為の補正)

第2条 既定の債務負担行為の追加は、「第2表 債務負担行為補正」による。

(地方債の補正)

第3条 既定の地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

令和6年9月4日 提出

大郷町長 田 中 学

まず、今回の補正予算の概要について御説明いたします。

今回の補正予算ですが、4月の人事異動等に伴う人件費の調整、前年度決算に伴う各種特別会計間の繰出金、国県に対する各種事業の完了に伴う返還金の計上のほか、各種施設の維持補修等に関する費用、地区要望等による道路及び側溝等の生活環境整備に関する費用等の計上となります。

主なものにつきましては、除融雪業務委託料、粕川地区防災コミュニティセンター備品及び非常食購入費、町道緊急維持工事、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業等の国庫補助金に係る返還金、おおさとスマートスポーツパーク構想についての住民投票関係費用、民間分譲地8区画購入者に対する定住促進事業補助金、パストラル縁の郷指定管理料等を計上しております。

歳入では、前年度の実績報告に基づく国県補助金、前年度繰越金、債券購入等による利子、基金利子、前年度決算による各種特別会計からの繰入金、公共施設整備基金、財政調整基金において財源調整をしたものでございます。

続きまして、3ページをお開き願います。

歳入です。

第1表歳入歳出予算補正により、款項ごとに内容を御説明いたします。

第15款国庫支出金第1項国庫負担金8万1,000円の増額補正です。令和5年度精算による介護保険低所得者保険料軽減負担金の増によるものです。

第2項国庫補助金416万3,000円の増額補正です。県内11市町を含む12団体で共同実施する、人工衛星を活用した水道管路の漏水調査業務に係るデジタル田園都市構想交付金等による増でございます。

第16款県支出金第1項県負担金9,000円の増額補正です。国庫負担金で

も御説明申し上げました、令和5年度精算による介護保険低所得者保険料軽減負担金の県負担分の増によるものです。

第2項県補助金58万2,000円の減額補正です。がん検診受診率向上促進事業が、宮城県の市町村振興補助金の補助対象外となったこと等による減でございます。

17款財産収入1項財産運用収入94万3,000円の増額補正です。基金の運用のため、債券購入を行ったことによる長寿社会対策基金利子及び調査建設基金利子収入等の増によるものです。歳出で同額を積立金として計上しております。

第19款繰入金第1項基金繰入金1億6,063万3,000円の増額補正です。町道中屋敷洞下線のり面復旧工事及び中粕川地区の消火栓設置工事負担金等の財源として、公共施設整備基金、財源調整としての財政調整基金繰入金による増です。

第2項特別会計繰入金303万1,000円の増額補正です。前年度決算による国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各種特別会計からの繰入金です。

20款繰越金第1項繰越金3,243万3,000円の増額補正です。前年度決算による繰越金です。

第12節諸収入第5項雑入2,000円の増額補正です。ひきこもり居場所支援事業で行う調理の参加者負担金の増です。

22節町債第1項町債470万9,000円の減額補正です。臨時財政対策債の令和6年度発行可能額が増加したことによる増がありますが、緊急防災・減災事業債の借入れを見込んだ町道中屋敷洞下線のり面復旧工事が県との協議の結果、被災対象外となったことによる減となります。

歳入補正額合計1億9,600万4,000円です。

続きまして、4ページを御覧いただきます。

歳出です。

第1款議会費第1項議会費77万4,000円の増額補正です。人件費の調整等によるものです。

第2款総務費第1項総務管理費497万2,000円の増額補正です。人件費の調整、大郷派出所跡地の売払い及び羽生地区で大雨の際に町側溝から個人水路に雨水等が流入することを解消するための調査設計に伴う土地境界確定測量等業務、羽生地区での排水側溝設置工事、公用車及び住民バスのスタッドレスタイヤ購入費、粕川地区防災コミュニティーセンター防災倉庫への非常食及び備品購入費等の増によるものです。

第2項徴税費164万8,000円の増額補正です。人件費の調整、3年に1度の固定資産評価替えに向けた土地評価基礎データ作成業務委託料等による増です。

第3項戸籍住民基本台帳費403万4,000円の減額補正です。人件費の調整等によるものです。

第4項選挙費607万6,000円の増額補正です。おおさとスマートスポーツパーク構想について住民の賛否を問う住民投票を実施するための関係費用の増です。

第3款民生費第1項社会福祉費147万6,000円の減額補正です。人件費の調整、令和5年度決算による介護保険特別会計からの繰出金、障害者自立支援給付費負担金の前年度精算による国県への返還金等が主なものです。

第2項児童福祉費912万円の増額補正です。障害児通所給付費負担金、子ども・子育て支援交付金等の前年の精算に伴う国県への返還金の増が主なものです。

第4款衛生費第1項保健衛生費1,116万9,000円の増額補正です。人件費の調整、新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金の令和5年度及び令和4年度繰越し分の精算に伴う国への返還金の増が主なものです。

第4項上下水道費364万5,000円の増額補正です。先ほど歳入で御説明申し上げました、県内11市町村を含む12団体で共同実施する人工衛星を活用した水道管路の漏水調査業務に係るデジタル田園都市構想交付金を、水道事業会計に補助金として支出するための増です。

第5款農林水産業費第1項農業費1,132万2,000円の増額補正です。開発センターと物産館の使用区分の変更に伴う開発センター指定管理料の減額がございしますが、人件費の調整、申請者の増加に伴う鳥獣被害防止施設購入事業費補助金、道の駅駐車場の除融雪業務委託料、パストラル縁の郷指定管理者との協定に含まれていないテレワーク施設に係る施設管理経費及びコロナ禍での入り込み客数の減や、物価高騰による経営状況を踏まえた指定管理料の計上による増となるものです。

第6款商工費第1項商工費429万7,000円の増額補正です。人件費の調整、くろかわ商工会の弁当市補助金、町の観光PRキャラクターである常のモロの認知度向上のためのLINEスタンプ作成業務委託料等の増によるものです。

第7款土木費第1項土木管理費33万5,000円の増額補正です。人件費の

調整によるものです。

第2項道路橋梁費1億981万7,000円の増額補正です。除融雪業務委託料、県道利府松山線及び大和松島線の交差点沿いの道路照明灯、灯具修繕料、町内全域の町道緊急維持工事及び交通安全施設修繕工事、地区要望等による町道山崎蛭田線及び貝柄塚江戸沢線の舗装修繕工事、町道東成田新田線及び山崎不来内線の区画線修繕工事、同じく町道山崎不来内線側溝整備工事等の増が主なものです。

第3項河川費440万円の増額補正です。地区要望等による味明川及び安戸川の護岸修繕工事による増です。

第4項住宅費116万6,000円の増額補正です。町営住宅入退去に伴う住宅クリーニング及び修繕工事等の増によるものです。

第5項都市計画費510万3,000円の増額補正です。申請者の増加に伴う木造住宅耐震改修事業補助金、粕川大檀原の民間分譲8区画の購入者に対する定住促進事業補助金等の増によるものです。

5ページをお開き願います。

第8款消防費第1項消防費463万7,000円の増額補正です。旧粕川小学校にあった消火栓を廃止し、粕川地区防災コミュニティーセンター敷地内に消火栓を設置するための設置工事負担金、中村地区の消火栓の設置に伴う防火水槽撤去工事等の増によるものです。

第9款教育費第1項教育総務費91万円の増額補正です。人件費の調整、スクールバスのバス停除雪業務委託料、融雪剤購入等の増によるものです。

第2項小学校費116万7,000円の増額補正です。除融雪業務委託料、放送設備及び給食用エレベーターの修繕料等の増によるものです。

第3項中学校費250万円の増額補正です。除雪業務委託料、給食用エレベーターの修繕工事等の増によるものです。

第4項社会教育費1,743万8,000円の増額補正です。人件費の調整、除融雪業務委託料、粕川地区防災コミュニティーセンター備品購入費等の増によるものです。

第5項保健体育費101万8,000円の増額補正です。人件費の調整、除融雪業務委託料、学校給食用食器の経年劣化による一部買換え等による増です。

歳出補正額合計1億9,600万4,000円です。

以上、補正前の予算額60億9,299万円に、歳入歳出とも1億9,600万4,000円を追加し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ62億8,899万

4,000円とするものです。

続きまして、6ページの第2表債務負担行為補正について御説明いたします。

今回の補正は、追加2件です。

事項、期間、限度額の順に御説明いたします。

1、戸籍総合システムハードウェア賃貸借、設定期間は令和6年度から11年度まで、限度額は991万円です。戸籍電算システム機器更新により、令和7年度からの稼働に向けて機器の調達や導入作業等の準備が必要なことから、債務負担行為を設定するものです。

2、土地評価業務、設定期間は令和6年度から令和8年度まで、限度額は1,749万円です。3年に1度の固定資産評価替えについて、年度ごとに必要な業務を黒川地域の他市町村と同様に一括して業務委託するため、債務負担行為を設定するものです。

続きまして、7ページの第3表地方債補正について御説明いたします。変更2件でございます。

基金の目的、補正前、補正後の順で御説明いたします。

1、道路等整備事業、町道中屋敷洞下線のり面復旧工事について、県と協議した結果、起債対象外となったことから、限度額を3,580万円から2,820万円に変更するものです。

2、臨時財政対策債、臨時財政対策債の令和6年度発行可能額が増加したことから、限度額を810万から1,099万1,000円に変更するものです。

なお、変更2点とも、起債方法、利率、償還の方法は補正前と同様でございます。

一般会計補正予算（第5号）につきましても説明は以上となります。

次ページ以降の事項別明細書を御覧いただきまして、御審議の上、御可決賜りますようお願い申し上げます。

議長（石川良彦君） 以上で、議案第49号について説明を終わります。

次に、議案第50号及び議案第52号について説明を求めます。町民課長。

町民課長（千葉 昭君） それでは、議案第50号につきましても、提案理由の御説明を申し上げます。

補正予算書の35ページを御覧ください。

議案第50号 令和6年度大郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

令和6年度大郷町の国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算補正)

第1条 既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ21万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9億2,372万3,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和6年9月4日 提出

大郷町長 田 中 学

今回の補正は、歳入では前年度の精算に伴う繰越金とシステム改修に係る補助金、歳出では歳入と同様に前年度の精算に伴う一般会計の繰り出しによるものが主なもので、財源を基金繰入金で調整したものでございます。

次のページを御覧ください。

第1表歳入歳出予算補正。

まず、歳入でございます。

第5款繰入金第2項基金繰入金1,053万円の減額です。財源調整のための財政調整基金からの繰入金でございます。

第6款繰越金第1項繰越金487万6,000円の増額です。前年度からの繰越金でございます。

第8款国庫支出金第1項国庫補助金586万8,000円の増額です。マイナンバー関連のシステム改修に対する補助金でございます。

以上、歳入合計21万4,000円の増額補正でございます。

続きまして、歳出でございます。

第1款総務費第1項総務管理費36万5,000円の減額です。国保システム改修業務に係る費用でございます。

第7款諸支出金第2項繰出金57万9,000円の増額です。前年度精算に伴う一般会計の繰出金でございます。

以上、歳出合計21万4,000円の増額補正でございます。

補正前の予算額9億2,350万9,000円に、歳入歳出それぞれ21万4,000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ9億2,372万3,000円とするものです。

以上で、議案第50号の説明を終わります。

続きまして、議案第52号につきまして提案理由の御説明を申し上げます。

補正予算書の51ページを御覧ください。

議案第52号 令和6年度大郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

令和6年度大郷町の後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算補正）

第1条 既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ104万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億1,019万円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和6年9月4日 提出

大郷町長 田 中 学

今回の補正は、歳入では前年度の精算に伴う繰越金、歳出では広域連合に対する前年度分の未送金保険料納付金が主なものでございます。

次のページを御覧ください。

第1表歳入歳出予算補正。

まず、歳入でございます。

第4款繰越金第1項繰越金79万9,000円の増額です。前年度の精算に伴う繰越金でございます。

第5款諸収入第2項償還金及び還付加算金24万2,000円の増額です。広域連合からの保険料還付金でございます。

以上、歳入合計104万1,000円の増額補正でございます。

続きまして、歳出でございます。

第2款後期高齢者医療広域連合納付金第1項後期高齢者医療広域連合納付金69万8,000円の増額です。前年度分の未送金保険料でございます。

第3款諸支出金第1項償還金及び還付加算金24万2,000円の増額です。今後、支出見込みによるものでございます。

第2項繰出金10万1,000円の増額です。前年度精算に伴う一般会計の繰出金でございます。

以上、歳出合計104万1,000円の増額補正でございます。

補正前の予算額1億914万9,000円に、歳入歳出それぞれ104万1,000円を追加し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ1億1,019万円とするものでございます。

以上で、議案第52号の説明を終わります。

ただいま御説明いたしました議案第50号 令和6年度大郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）、議案第52号 令和6年度大郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）につきまして、それぞれの事項別明細書を御覧いただき、御審議の上、御可決賜りますようお願い申し上げます。

議長（石川良彦君） 以上で、議案第50号及び議案第52号について説明を終わります。

次に、議案第51号について説明を求めます。保健福祉課長。

保健福祉課長（伊藤義継君） それでは、議案第51号につきまして提案理由を御説明申し上げます。

各種会計補正予算説明書の42ページを御覧ください。

議案第51号 令和6年度大郷町介護保険特別会計補正予算（第1号）
令和6年度大郷町の介護保険特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算補正）

第1条 既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,567万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11億5,668万1,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和6年9月4日 提出

大郷町長 田 中 学

今回の補正予算は、歳入におきましては、令和5年度事業の精算に伴う交付金や県負担金の調整のほか、前年度繰越金の計上と基金繰入金による財源調整を図ったものとなります。

歳出におきましては、令和5年度の支払基金交付金や国県支出金の精算に伴う返還金や、同じく令和5年度精算に伴う一般会計繰出金が主なものとなります。

なお、7月末現在の第1号被保険者は3,004人で、総人口に占める割合は39.9%となっております。同じく第1号被保険者に係る要介護等の認定者数は621人で、第1号被保険者に占める割合は20.7%、総人口に占める割合は8.3%となっております。

それでは、43ページを御覧願います。

第1表歳入歳出予算補正について、款項ごとに御説明いたします。

まず歳入ですが、第3款支払基金交付金第1項支払基金交付金の補正金額は15万3,000円の増額で、対象事業費の27%が交付されるものであり、介護予防ケアマネジメント事業費の増と、令和5年度交付金の精算に伴う追加交付分の計上によるものでございます。

次に、第4款国庫支出金第2項国庫補助金の補正金額は7万9,000円の増額で、対象事業費の約26%が交付されるものであり、介護予防ケアマネジメント事業費の増に伴うものです。

次に、第5款県支出金第1項県負担金の補正金額は101万1,000円の増額で、介護給付費の令和5年度精算に伴う追加交付分の計上となります。

次に、第2項県補助金の補正金額は3万8,000円の増額で、対象事業費の12.5%が交付されるものであり、介護予防ケアマネジメント事業費の増に伴うものでございます。

次に、第7款繰入金第1項一般会計繰入金の補正金額は7万7,000円の増額で、対象事業費の12.5%の繰入れと、令和5年度の精算に伴う追加によるものでございます。

次に、第2項基金繰入金の補正金額は62万6,000円の減額で、介護給付費準備基金により財源調整を行うものでございます。

次に、第8款繰越金第1項繰越金の補正金額は1,494万4,000円の増額で、前年度の繰越金となります。

歳入補正額合計は1,567万6,000円の増額となります。

続きまして、歳出について御説明いたします。

第1款総務費第3項介護認定審査会費の補正金額は8,000円の減額で、会計年度任用職員の共済組合事務費負担金の確定に伴う減額でございます。

次に、第3款地域支援事業費第1項介護予防生活支援サービス事業費の補正金額は30万6,000円の増額で、地域包括支援センターによる介護予防に必要なケアの相談や管理のための介護予防ケアマネジメント件数が当初見込みを上回ったことによる委託料の計上が主なものでございます。

次に、第6款諸支出金第1項償還金及び還付加算金の補正金額は1,302万5,000円の増額で、令和5年度の支払基金交付金や国県支出金の精算に伴う返還金になります。

返還金の内訳は、国庫支出金が1,194万4,000円、県支出金が27万8,000円、支払基金交付金が80万3,000円になります。国庫支出金の返還

金が多額となる理由としましては、当初の交付決定後、減額の変更交付申請受付が行われなかったためでございます。

次に、第7款繰出金第1項繰出金の補正金額は235万3,000円の増額で、令和5年度会計の精算に伴う一般会計への繰出金となります。

歳出補正額合計は1,567万6,000円の増額となります。

以上、補正前の予算額11億4,100万5,000円に、歳入歳出とも1,567万6,000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ11億5,668万1,000円とするものです。

介護保険特別会計補正予算についての説明は以上となります。

次ページ以降の事項別明細書を御覧いただきまして、御審議の上、御可決賜りますようお願いいたします。

議長（石川良彦君） 以上で、議案第51号について説明を終わります。

次に、議案第53号及び議案第54号について説明を求めます。上下水道課長。

上下水道課長（齋藤正智君） 議案第53号につきまして、提案理由を御説明申し上げます。

それでは、補正予算書58ページをお開き願います。

今回の補正概要についてですが、収益的な部分では、人工衛星を活用した漏水調査事業の交付金内示に伴う増、水道事業の給水区域等を変更するための検討業務や、漏水調査業務が補正の主なものとなっております。

また、資本的な部分では、中粕川地内の消火栓設置工事や水道管布設替工事後の舗装本復旧工事に伴う補正となっております。

それでは、御説明いたします。

議案第53号 令和6年度大郷町水道事業会計補正予算（第1号）
（総則）

第1条 令和6年度大郷町水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第2条 令和6年度大郷町水道事業会計予算（以下予算という）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収入です。

第1款水道事業収益を364万5,000円増額補正し、2億5,027万3,000円とするものです。

第2項営業外収益同額は、デジタル田園都市国家構想交付金による人

工衛星を活用した漏水調査の内示がありましたので、予算を計上するものです。

支出です。

第1款水道事業費用を951万3,000円増額補正し、2億3,836万8,000円とするものです。

第1項営業費用同額は、給水区域変更検討業務、人工衛星を活用した後の漏水調査業務、水質検査の計上によるものでございます。

次ページをお開き願います。

(資本的収入及び支出)

第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額、4,932万4,000円は、当年度分損益勘定留保資金4,385万8,000円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額546万6,000円で補填するものとする。

収入です。

第1款資本的収入を1,829万9,000円増額補正し、5,530万4,000円とするものです。

第2項他会計負担金219万9,000円は、中粕川地区の消火栓設置に伴う一般会計からの負担金です。

第3項企業債1,610万円は、粕川地区舗装本復旧工事、大松沢法堂地区舗装本復旧工事の計上によるものです。

支出です。

第1款資本的支出を1,833万円増額補正し、1億462万8,000円とするものです。

第2項建設改良費同額は、中粕川地区の消火栓設置工事、粕川地区舗装本復旧工事、大松沢法堂地区舗装本復旧工事の計上によるものでございます。

次ページをお願いいたします。

(企業債の補正)

第4条 予算第5条に定めた既定の企業債の限度額を次のとおり変更する。

起債の目的2、水道管路近代化推進事業、限度額を補正前の3,700万円を補正後5,310万円に変更するものです。起債の方法、利率、償還の方法は補正前に同じでございます。

(議会の議決を経なければ、流用することのできない経費)

第5条 予算第8条に定めた経費の金額を次のように改める。
科目、職員給与費について、既決予定額1,431万7,000円から55万
5,000円を減額補正し、1,376万2,000円とするものです。

令和6年9月4日提出

大郷町長 田 中 学

以上で、議案第53号 水道事業会計の補正予算（第1号）の説明を終わります。

続きまして、64ページをお開き願います。

議案第54号につきまして、提案理由を御説明申し上げます。

今回の補正概要は、収益的な部分では、下水道管取り出し付近の傷んだ舗装の本復旧や、下水道ポンプの通信装置修繕、農業集落排水処理施設内の設備等修繕、合併処理浄化槽内の水質に影響のあるサカマキガイ駆除等に係る補正が主なものです。

また、資本的な部分では、企業債として、羽生地区の公共汚水柵設置工事並びに下水道本管工事の計上によるものです。

建設改良費としては、同事業の工事の計上により実施することに伴う補正となっております。

それでは、御説明いたします。

議案第54号 令和6年度大郷町下水道事業会計補正予算（第1号）
（総則）

第1条 令和6年度大郷町下水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的支出）

第2条 令和6年度大郷町下水道事業会計予算（以下予算という）第3条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

支出です。

第1款下水道事業費用を354万7,000円増額補正し、3億7,415万6,000円とするものです。

第1項営業費用同額は、下水道管取り出し付近の傷んだ舗装の本復旧、下水道ポンプの通信装置修繕、農業集落排水処理施設内の設備修繕等によるものが主なものとなります。

（資本的収入及び支出）

第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収入です。

第1款資本的収入を2,200万円増額補正し、2億3,122万円とするものです。

第1項企業債同額は、羽生地区公共汚水柵設置工事並びに下水道本管工事の計上によるものです。

次ページを御覧ください。

支出です。

第1款資本的支出を2,200万円増額補正し、2億1,540万3,000円とするものです。

第1項建設改良費同額は、羽生地区公共汚水柵設置工事並びに下水道本管工事の計上によるものです。

(特例的収入及び支出)

第4条 予算第4条の2の未収金及び未払金の額はそれぞれ2,429万8,000円及び5,442万5,000円を、未収金及び未払金の額はそれぞれ724万2,000円及び5,858万1,000円に改める。

この特例的収入及び支出につきましては、令和6年度に下水道事業関連3特別会計を公営企業会計に移行しており、3月31日に打切決算ということで全ての出納が打ち切られております。今回はこの打切決算による年度末の金額が確定いたしましたので、改めるものです。

(企業債の補正)

第5条 予算第6条に定めた既定の企業債の限度額を次のとおり変更する。

起債の目的1、公共下水道事業限度額、補正前の1,600万円を補正後3,800万円に変更するものです。起債の方法、利率、償還の方法は、補正前に同じでございます。

次のページを御覧ください。

(議会の議決を経なければ、流用することのできない経費)

第6条 予算第9条に定めた経費の金額を次のように改める。

科目、職員給与費について、既決予定額2,612万9,000円から44万4,000円を減額補正し、2,568万9,000円とするものです。

令和6年9月4日提出

大郷町長 田 中 学

以上で、議案第54号 下水道事業会計の補正予算(第1号)の説明を終わります。

ただいま御説明申し上げました議案第53号、議案第54号につきましては補正予算説明書を御覧いただきまして、御審議の上、御可決賜ります

ようお願い申し上げます。

以上で、説明を終わらせていただきます。

議長（石川良彦君） 以上で、議案第53号及び議案第54号について説明を終わります。

議長（石川良彦君） 以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

御苦労さまでした。

午 後 2 時 2 9 分 散 会

上記の会議の経過は、事務局長 三浦 光の記載したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員